

レーザーキャナ
Z - 3051HSシリーズ

日本語訳 設定マニュアル

第1版

Rev1.3

はじめにお読み下さい

対象機種

型式	インターフェース
Z-3051HS-USB	USB キーボードインターフェース

目次

はじめに 本書について	1	スキャナー制御 (3)	18
あらかじめご承知いただきたい事項	1	ブザー 音程	18
改訂履歴	1	ブザー 長さ	18
同梱品の確認	2	ブザー 音量	18
各部の名称	3	起動時のブザー	18
スキャナの準備	4	ブザーのタイミング	18
スタンドの準備	4	スキャナー制御 (4)	19
設置方法	5	ターミネータ (無し、ENTER TAB)	19
動作環境	5	バーコードの読取条件	20
接続の概要	5	UPC EAN JAN	20-23
コンピュータへの接続	5	Code39	24-25
WindowsXP/2000/Me	5	Interleaved2of5, ITF	26
Windows98SE	6	NV-7(Codabar)	27
接続した後の確認	6	Code128	28
操作方法	7	Code93	29
バーコードの読み取り方	7	MSI/Plessey	29
1 手持ちスキャン	7	IATA	29
2 自動スキャン (スタンドを使う)	7	データ編集	30
動作の確認方法	7	前置文字 後置文字	30
設定の方法 (フローチャート)	8	データの削除	30
設定の例	9	コード識別子の付加 (初期値)	30
データを出力する順番	10	コード識別子の付加 (ユーザー指定)	31
初期設定の内容	11		
スキャナの通知	12	付録 1	
トラブルシューティング	13	アスキーコード表	32
		付録 2	
設定用バーコード	14	Full Ascii Code39表 (値設定)	33-37
システム	14	付録 3	
設定開始	14	クイックメニュー	38
初期化	14	[1]はじめて使用するとき	38
インターフェースの設定	14	[2]PCが英大文字入力するとき	39
設定中止	14		
設定終了	14	付録 4	
動作環境	15	テスト用バーコード	40
キーボードレイアウト	15	お問い合わせ先	41
ファンクションキー変換	15		
スキャナー制御 (1)	16		
トリガーの設定	16		
レーザーの点滅間隔	16		
スタンド設置時の自動スキャン	16		
スキャナー制御 (2)	17		
2度読み防止時	17		
メッセージ間の遅れ	17		

はじめに 本書について

- ・ 本書は英文取扱説明書 (PROGRAMING GUIDE) から、主に使用する機能変更の設定用バーコードメニューを抜粋し、日本語に翻訳したものです。

あらかじめご承知いただきたい事項

- ・ 本書は再配布していません。設定を実行した後は、大切に保管してください。

改訂履歴

第1版	日本語訳 設定マニュアル 作成
第1版 Rev1.1	お問い合わせ先を改訂。本社移転のため。
第1版 Rev1.2	バーコードの読み取り条件 NW-7 に「読み取り判定の変更」の設定バーコードを追加。
第1版 Rev1.3	バーコードの読み取り条件 EAN-13, JAN-13 オプションに「日本の新雑誌コード (定期刊行物) アドオンの強制」を追加。

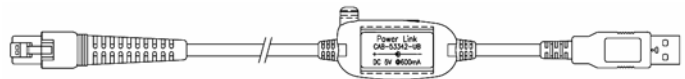
同梱品の確認

本製品をご使用になる前に、箱に入っているものをご確認ください。
万が一、不足しているものがありましたら、当社までお問い合わせください。

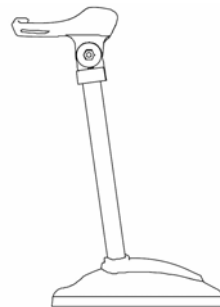
スキャナ 本体 1台
(専用 USB ケーブル後で接続します)



インターフェースケーブル (専用 USB ケーブル) 1本

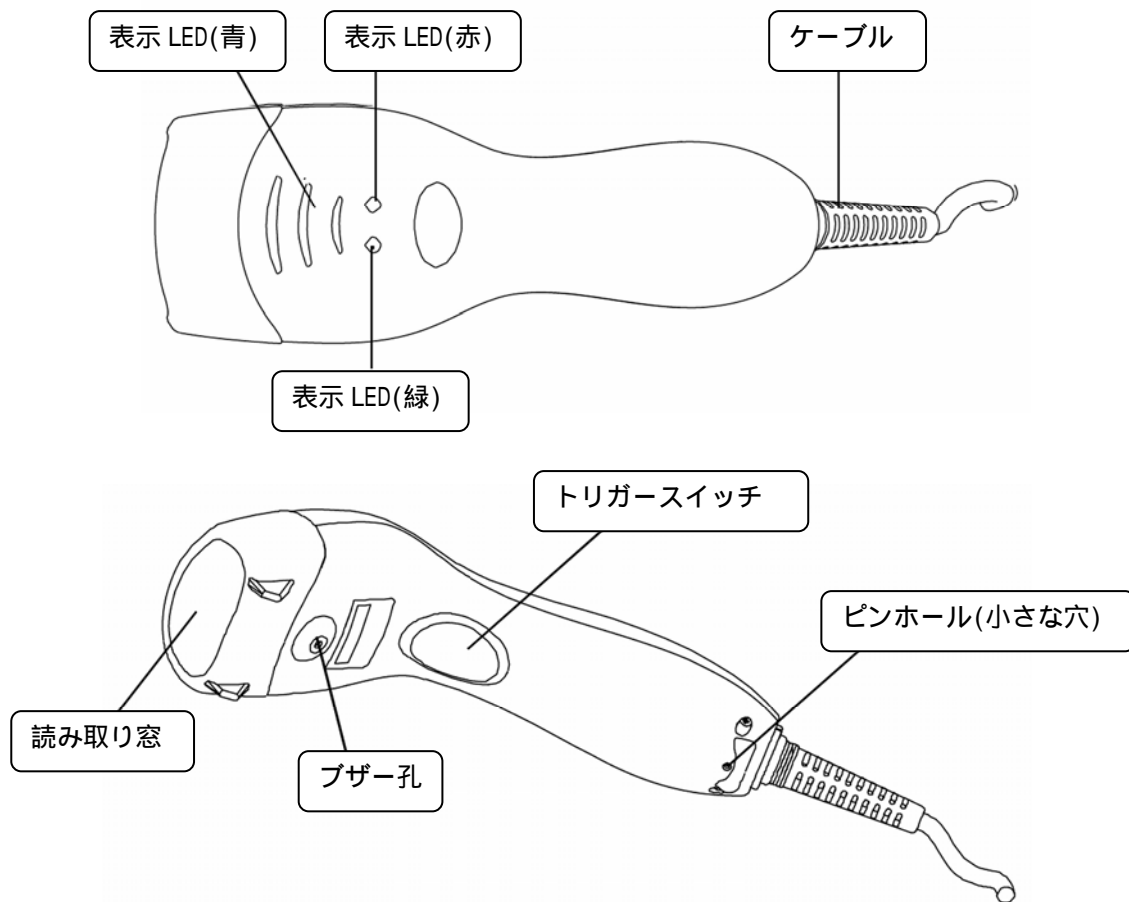


スタンド 1個



User ' s Manual (英語マニュアル) 1冊
日本語マニュアル (本書) はダウンロード配布となります。

各部の名称



スキャナの準備

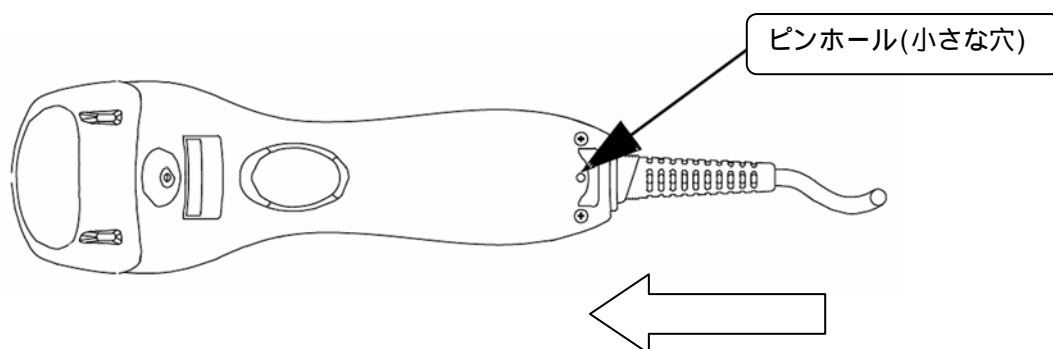
最初に、スキャナにインターフェースケーブル（付属品）を接続します。

スキャナ手持ち部の下側に、インターフェースケーブル接続用のコネクタがあります。コネクタに、インターフェースケーブルのモジュラーコネクタ（RJ45 コネクタ）を接続します。コネクタの方向に注意して、正しい方向で接続します。

[コネクタの方向]

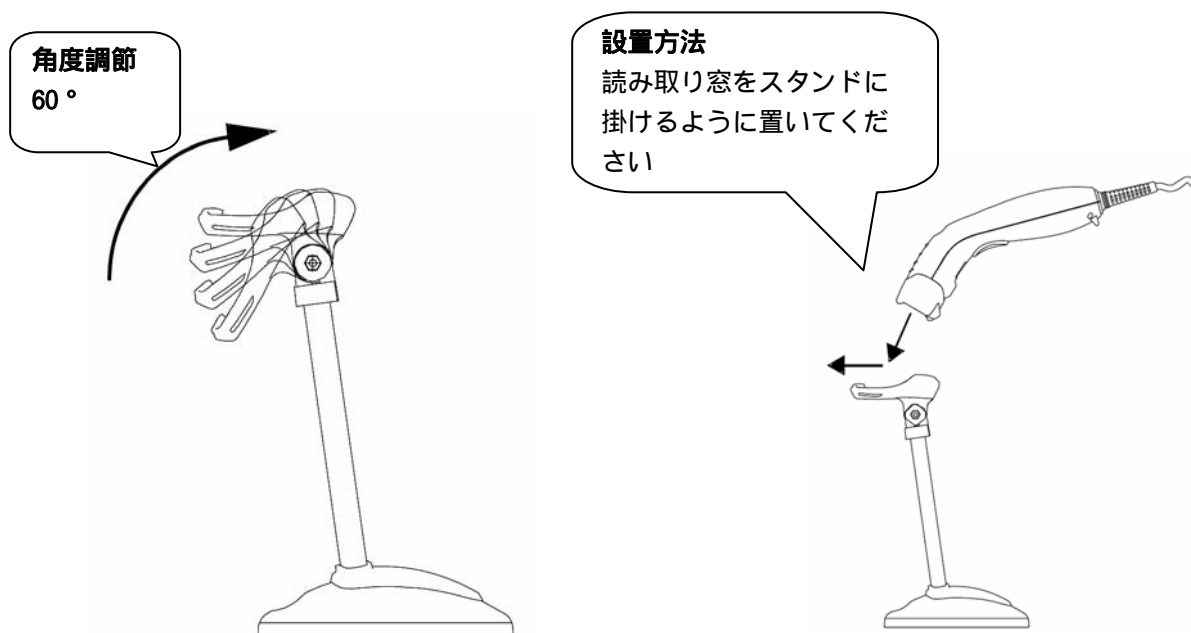
コネクタの「ツメ（返し）」側をスキャナ本体の「ピンホール（小さな穴）」がある方に向けて接続します。

「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。



スタンドの準備

スタンドはオプションです。スタンドの首を手で動かし角度を調節してください。スキャナを設置すると、スキャナの機能が「自動スキャン」モードに自動的に切り替わります。



設置方法

動作環境

コンピュータ	IBM PC/AT 互換機 (DOS/V マシン)
OS	WindowsXP/2000/Me/98SE
接続するポート・コネクタ	USB(USB ver1.1 または USB2.0)、USB-A コネクタ
制限事項	USB インターフェースは全ての環境での動作を保証するものではありません。 WindowsNT/95 は USB をサポートしていませんので動作しません。

ドライバ	USB HID(ヒューマンインターフェース)クラスドライバ
ドライバの場所	Windows XP/2000 では PC が自動的にドライバをインストールします。 USB HID クラスドライバはコンピュータ (Windows) のハードディスク内のシステムフォルダに格納されています。 製品にドライバの CD-ROM などは同梱されていません。 * コンピュータの状態によっては、OS の CD-ROM が必要になります。

接続の概要

コンピュータの起動

バーコードリーダーの接続

ドライバのインストール

WindowsXP/2000/Me : OS が自動インストールします

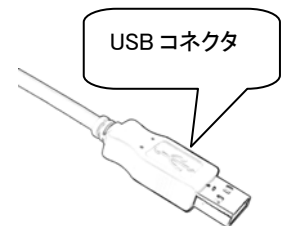
Windows98SE : マウスとキーボードを使用してインストールウィザードを操作します

接続 (セットアップ) の完了

接続方法 (コンピュータの OS に合った説明をお読みください)

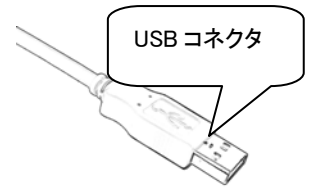
WindowsXP/2000/Me

- (1) スキャナーの USB コネクタをコンピュータの USB コネクタへ接続します。
コンピュータ本体の USB コネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。
起動時のブザーが鳴ります。
- (3) **Windows が自動的に USB ドライバのインストールを開始します。**
- (4) コンピュータの画面に、「**新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました**」と表示されるまでお待ちください。表示されると、ドライバのインストールは完了です。



Windows98SE

- (1) スキャナーの USB コネクタをコンピュータの USB ポートへ接続します。
コンピュータ本体の USB コネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。
起動時のブザー（メロディ）が鳴ります。
起動時のブザーは鳴らさないように設定を変更できます。
設定の変更はドライバのインストールが完了してから行ってください。
- (3) コンピュータの画面に「ドライバの接続ウィザード」ダイアログ画面が開きます。
「このデバイス用の新しいドライバを探しています。しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されたら「次へ」をクリックします。
- (4) 「検索方法を指定して下さい」と表示されたら
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- (5) ドライバの検索先指定ダイアログが表示されます。
「検索場所の指定」をチェックし、白い枠内に半角で「C:\WINDOWS\INF」と入力します。
入力したら「次へ」をクリックします。
- (6) 「USB ヒューマンインターフェースデバイス」「このデバイスに最適なドライバをインストール準備ができました」と表示されたら「次へ」をクリックします。
- (7) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」をクリックします。
ドライバのインストールが完了します。

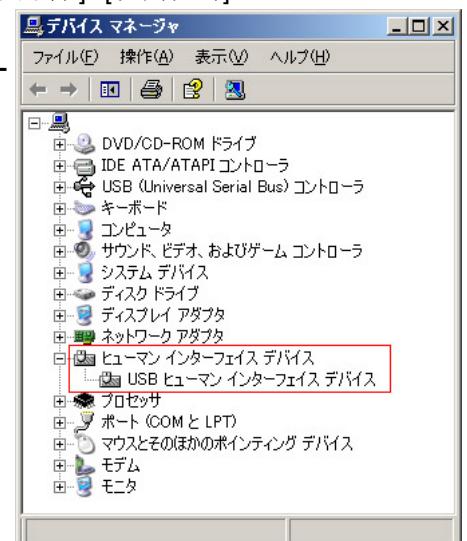


備考 パソコンの環境によっては、OS (Windows98SE) の CD-ROM を求めるメッセージが表示されることがあります。あらかじめ OS の CD-ROM をご用意ください。

接続した後の確認

- (1) スキャナー側面のトリガースイッチを押して、読み取り窓から赤いレーザーが投光されることを確認してください。
- (2) Windows がスキャナーを認識していることを確認します。
Windows のタスクバー-[スタート]-([設定)]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を開きます。
- (3) 「ヒューマンインターフェースデバイス-USB ヒューマンインターフェースデバイス」が表示されていることを確認します。

備考 USB キーボードや USB マウスを接続していると、複数の USB ヒューマンインターフェースデバイスが表示されます。



操作方法

[バーコードの読み取り方]

1 手持ちスキャン(トリガーを押してスキャン)

- (1) スキャナのトリガースイッチ(黄色部)を押します。
- (2) レーザーをバーコードに投光します。
バーコードの左右から赤色光がはみでるように投光します(例図1)。



操作のコツ

本製品はバーコードに接触(タッチ)した状態では読み取りできません。
スキャナの窓をバーコードから 35mm 以上離して、レーザーを投光してください。

- (3) バーコードを読み取ると、読み取り確認ブザーが鳴り、データがコンピュータに出力されます。

[例図 1]

バーコード規格: Code39

* (アスタリスク) は Code39 のスタート・ストップキャラクタです。初期設定では出力しません。



2 自動スキャン(スタンドにスキャナを置いてスキャン)

- (1) スキャナをスタンドに置きます。
- (2) スキャナの前にバーコードをかざします。
- (3) 自動的にレーザーが投光され、
バーコードを読み取ります。(例図2)

[例図 2]

スタンドに置くのみで
自動スキャンに切り替
わります



[動作の確認方法]

- (1) Windows の画面上にあるタスクバーから[スタート]-[(すべての)プログラム]
[アクセサリ]-[メモ帳]を開きます。
- (2) スキャナでバーコードを読み取ります。[メモ帳]にバーコードデータが出力・表示されます。

動作の確認が済みましたら、必要に応じてスキャナの設定を変更し、運用を開始してください。

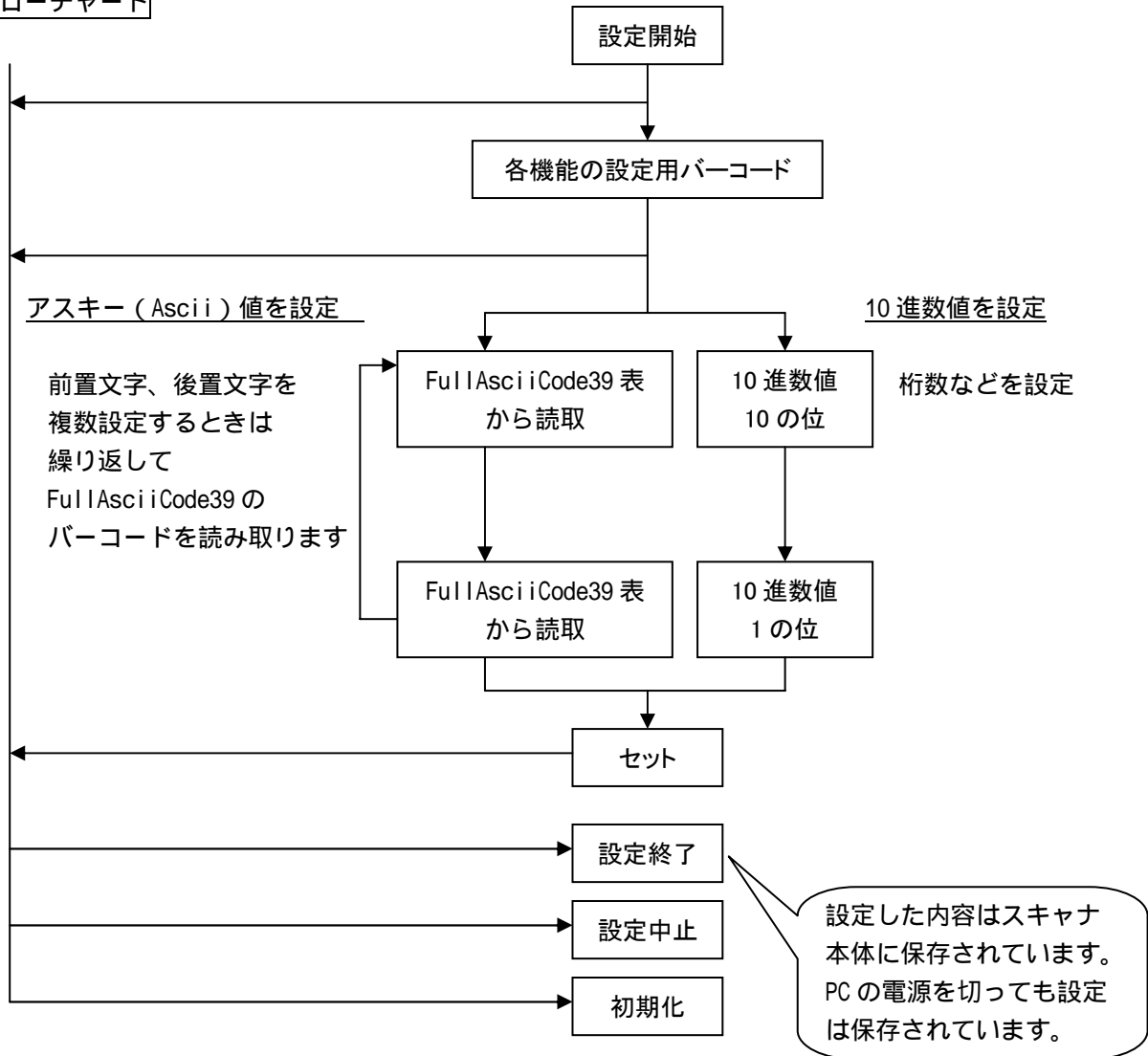
参考

よくわからない場合は付録ページの設定メニューを設定して使用してください。
「付録3 クイックメニュー[1]はじめて使用するときに推奨する設定(巻末)」

設定の方法

スキャナの機能を変更するには、スキャナで本書の「設定用バーコード」を読み取ります。
読み取る順番は、フローチャートに示す通りです。
必要に応じて設定を変更してください。

フローチャート



設定の例

例 1

Interleaved2of5 で 4 桁のバーコードを読ませるために、**最短の読み取り桁数**に “04” を設定します。

* 初期設定は 6 桁以上の Interleaved2of5 を読み取ります (最短の読み取り桁数の値が 06)。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始(各ページ共通)
2	バーコード読み取り条件- Interleaved2of5	最短の読み取り桁数
3	FullAsciiCode39 表	“0” (Hex「30」)
4	FullAsciiCode39 表	“4” (Hex「34」)
5	FullAsciiCode39 表	セット
6	設定の開始と終了	設定終了(各ページ共通)

例 2

前置文字 1 つ目にアスキー文字 “A” (Hex「41」) を設定します。

後置文字 2 つ目にアスキー文字 “B” (Hex「42」) を設定します。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始(各ページ共通)
2	データ編集	前置文字
3	FullAsciiCode39 表	“A” (Hex「41」)
4	FullAsciiCode39 表	“B” (Hex「42」)
5	FullAsciiCode39 表	セット
6	設定の開始と終了	設定終了(各ページ共通)

例 3

バーコードデータの後に TAB を 2 回出力する*。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始(各ページ共通)
2	データ編集	後置文字
3	FullAsciiCode39 表	“HT” (Hex「09」)
4	FullAsciiCode39 表	“HT” (Hex「09」)
5	FullAsciiCode39 表	セット
6	設定の開始と終了	設定終了(各ページ共通)
7	設定の開始と終了	設定開始
8	ターミネータ	無し
9	設定の開始と終了	設定終了(各ページ共通)

* 後置文字に「TAB」を 1 回設定、ターミネータに「TAB」を設定しても内容は同じです。

** 「TAB」「ENTER」以外のファンクションキー(「CTL(L)」など)を設定する場合は「ファンクションキー変換」を「変換する」に設定します。(P32 参照)

データを出力する順番

前置文字、後置文字、コード識別子、バーコードデータ、ターミネータの出力順を下記の「データ出力順の表」に示します。

データ出力順の表

(左側が先頭)

設定項目	出力データ				
	前置文字 Header (Preamble)	コード識別子 IdentifierCode	バーコード データ	後置文字 Tailer (Postamble)	ターミネータ Message Terminator
桁数	0-10	1*	-	0-10	1
設定の例	-----				
スキャンする FullAsciiCode39	A B	M		C HT	(ターミネータ選択)
キー出力	A B	M	1234ABCD	C TAB	無し ENTER TAB

* EAN-8 (JAN-8) のコード識別子は、初期値では「FF」です。ユーザー設定の桁数は1桁です。

初期設定の内容

「メモ」欄に設定した内容を記入して、控えなどにしてください。

システムメニュー

項目	初期設定	メモ
インターフェースの設定	未設定*	*初期化した後はUSBに設定してください

動作環境設定

項目	初期設定	メモ
キーボードのレイアウト	英語キーボード	
ファンクションキー変換	変換しない	

スキャナー制御

項目	初期設定	メモ
トリガーの設定	トリガー	
レーザーの点滅間隔	中	
スタンド設置時の自動スキャン	有効	
ブザー 音程	中	
ブザー 長さ	中	
ブザー 音量	大	
起動時のブザー	あり	
ブザーのタイミング	後	
2度読み防止時間	500msec	
メッセージ間の遅れ	0msec	
ターミネータ	ENTER	

バーコード読み取り条件*

バーコード規格	コード読み取り	読み取り桁数		コード識別子 文字	メモ
		最短	最長		
UPC-A	読み取る	-	-	A	
UPC-E	読み取る	-	-	E	
EAN-13 , JAN-13	読み取る	-	-	F	
EAN-8 , JAN-8	読み取る	-	-	FF	
Code39	読み取る	3	62	M	
Interleaved 2 of 5	読み取る	6	32	I	
NW-7(Codabar)	読み取らない	6	32	N	
Code128	読み取る	3	62	K	
Code93	読み取る	3	32	L	
MSI/Plessey	読み取らない	6	32	P	

*詳細な設定項目はそれぞれのバーコード読み取り条件のページをご覧ください。

前置文字“Preamble” / 後置文字“Postamble”

項目	値	メモ
前置文字	設定なし(最大10桁まで)	
後置文字	設定なし(最大10桁まで)	
先頭桁削除	設定なし(最大10桁まで)	
後尾桁削除	設定なし(最大10桁まで)	

スキャナの通知

表示 LED (ランプ) の通知

表示 LED	状態	説明
青/赤/緑	消灯	1) スキャナが PC に接続されていなく、スキャナに電源が入っていません。 2) スキャナが PC に接続されている場合は、スキャナが待機状態です。
赤	点灯	レーザーが投光されています。
緑 青	点灯 点滅	スキャナがバーコードを読み取りました。
緑	点灯	1) スキャナはバーコードを読み取りましたが、レーザーが同じバーコードに投光されたままです。レーザーをバーコードからそらすと次の動作を開始できます。 2) スキャナが設定モードです。
赤/緑	同時に点灯	レーザーのエンジンが起動に失敗しました。 故障しているおそれがあります。
青	点滅	スキャナがスタンドに設置され、自動スキャンの待機状態です。バーコードをかざすと自動的にレーザーが投光され、バーコードを読み取ります。
赤/緑	同時に点滅	電源投入に失敗しました。電流不足のおそれがあります。

ブザーの通知

ブザー	鳴り方	説明
1 回	ピッ	スキャナがバーコードを読み取りました。
4 回	ピーピピピー	スキャナが起動に成功しました。
2 回	ピー ピッ	1) スキャナが設定モードを開始しました。 2) スキャナが設定モードを終了しました。
鳴り続ける	ピー-----	スキャナが故障しているおそれがあります。

トラブルシューティング (故障とお思いになる前に)


「故障かな?」と思われる症状が発生した場合は、以下の表を確認し、対策を実施してください。
対策を実施しても解決しない場合は当社までお問い合わせください。

症状	原因	対策
スキャナが無反応です	電源のエラー、設定のエラーなど	レーザーが投光する場合は、設定メニューで「初期化」を実行してください。次に「USB キーボードインターフェース」設定を実行してください。
レーザーをあててもバーコードを読み取らない	スキャナをバーコードに接触させている	少し距離をとってスキャンします。接触では読み取りません。
	そのバーコードの種類が「読み取らない」に設定されている。	「読み取る」に設定してください。
	桁数の設定が合っていない。特に短い桁数(1~3桁など)は初期値では読み取りません。	「読み取り桁数」の設定を変更してください。(最短の読み取り桁数を1桁からに変更してください)
バーコードデータが出力されない	インターフェースの設定が間違っている。	「USB キーボードインターフェース」設定を実行してください。
スキャナをスタンドに設置したとき、赤ランプが点灯したままでレーザーが投光しない	スキャナの対物センサーが机などに反応してしまっている。	スタンドの角度をかえて、レーザーを少し前のほうにあてるようにしてください。スキャナが真下にむいていると、センサーがバーコード以外のものに反応してしまいます。
バーコードデータの大文字小文字が入れ替わって出力される	PCのキーボードCapsLockが大文字入力に設定されている。またはキーボードレイアウトが「英語 USB キーボード」「日本語 USB キーボード」のため。	PCのキーボードのCapsLockを小文字入りに切り替えてください(Shift+CapsLockで切り替えられます)。またはスキャナのキーボードレイアウトを「国際的」に設定してください。 *「国際的」に設定するとターミネータが無効になります。ENTERやTABを使用する場合は前置文字、後置文字に設定してください(付録3参照)。
特殊文字(記号)が異なる文字で出力される	キーボードレイアウトが「英語 USB キーボード」のため。	スキャナのキーボードレイアウトを「日本語 USB キーボード」に設定してください。


設定用バーコード

システムメニュー


設定開始

設定モードを開始します。	 * - - *
--------------	---


初期化

工場出荷の設定に初期化されます。 *初期化した後は、次項の「USB キーボードインターフェイス」を必ず設定してください。	 * - - *
---	---


インターフェイスの設定

USB キーボードインターフェイス インターフェイスがUSB キーボードインターフェイスに設定されます。初期化した後は、必ずこの設定を実行してください。	 * K E 9 7 *
---	--

設定中止

設定を中止し、設定モードを終了します。	 * + + *
---------------------	---

設定終了

設定モードを終了します。	 * + - *
--------------	---

設定開始



動作環境

印は、出荷時初期設定です。

キーボードのレイアウト *

インターナショナル(ALT method) CapsLock とキーボードレイアウトを無視して バーコードのキャラクタを出力します。	
英語 USB キーボード (US)	
日本語 USB キーボード	

* 1) 「英語 USB キーボード (US)」 の設定について :

NW-7、Code39、Code128 に特殊文字 (記号) が含まれている場合、一部の特殊文字は日本語 Windows では異なる文字で出力されます。

2) 「英語 USB キーボード (US)」 「日本語 USB キーボード」 の設定について :

PC のキーボード入力をアルファベット大文字 (A-Z) で使用している (CapsLock のランプ点灯) 場合、バーコードに含まれたアルファベットの 大文字と小文字が入れ替わります。

3) バーコードのアルファベットキャラクタをそのまま出力するには、「インターナショナル」を設定します。ただし、ターミネータがアプリケーションによっては受付されなくなります。

「インターナショナル」設定でデータ終端に「ENTER」や「TAB」を付加するには「後置文字 (P30 参照)」に「ENTER (CR、Hex=0D)」「TAB (HT、Hex=09)」を設定し、「ファンクションキー変換」を「変換する」に設定してください。

設定の手順については「付録 3 クイックメニュー (巻末)」を参照してください。

ファンクションキー変換 *

変換する	
変換しない	

* ファンクションキー変換を「変換する」に設定した場合の機能は次の通りです。

1) Code128 などに表示されたアスキーコードの “0x00” から “0x1F” までを、スキャナーに割り当てられたファンクションキーに変換してコンピュータに出力します。

2) 前置文字、後置文字にアスキーコードの “0x00” から “0x1F” を設定したとき、割り当てられたファンクションキーに変換されて出力します。

割り当てられるキーについては「付録 1 アスキーコード表 (巻末)」を参照して下さい。

設定終了



設定開始



スキャナー制御(1)

印は、出荷時初期設定です。

トリガーの設定

レーザーのオン/オフの動作を設定します。

<p>トリガー[トリガー読み+正読後オフ]</p> <p>トリガーを押している間レーザーを投光。 バーコードを読み取った後はレーザーが消灯。</p>	
<p>パルス[点滅+自動読み]</p> <p>レーザーがバーコードに投光すると読み取り。</p>	
<p>オートトリガー[センサー点灯+トリガー読み]*</p> <p>自動的に対象物を検地しレーザー投光。 トリガーを押すとバーコードを読み取り。</p>	
<p>エイム(狙い読み)[点滅+トリガー読み]</p> <p>レーザーは点滅。 トリガーを押すとバーコードを読み取り。 近くにバーコードが並んでいる中で、<u>目的の</u> バーコードのみをねらって読み取るときに便利 です。点滅間隔を「短」に設定すると便利です。</p>	
<p>モーメンタリー[トリガー読み+正読後オン]</p> <p>トリガーを押している間はレーザーを投光。 バーコードを読み取った後もレーザーは投光。</p>	

* 無反応が続くと停止します。レーザー起動まで数秒かかる場合があります。

レーザーの点滅間隔

中	
短 トリガーの設定を「エイム」に設定した場合は この設定を合わせて設定すると便利です。	
遅	

スタンド設置時の自動スキャン

有効	
無効	

設定終了



設定開始



スキャナー制御(2)

印は、出荷時初期設定です。

2度読み防止時間

同じバーコードをすぐに読まないための、時間間隔の設定です。

* S D O 1 *	50msec	* S D O 2 *	100msec
* S D O 3 *	200msec	* S D O 4 *	300msec
* S D O 5 *	400msec	* S D O 6 *	500msec
* S D O 7 *	600msec	* S D O 8 *	700msec
* S D O 9 *	800msec	* S D 1 1 *	1000msec
* S D 1 2 *	読まない		

メッセージ間の遅れ

データを出力した後、次に読み取りできるまでの時間間隔の設定です。

* I M O 1 *	0msec	* I M O 2 *	100msec
* I M O 3 *	500msec	* I M O 4 *	1000msec

設定終了



設定開始

スキャナー制御(3)



印は、出荷時初期設定です。




ブザー 音程

 * G R O 1 *	中	 * G R O 2 *	低
 * G R O 3 *	高	 * G R O 5 *	ブザー 無し


ブザー 長さ

 * G R 1 0 *	長	 * G R 1 1 *	中
 * G R 1 2 *	短	 * G R 1 3 *	最短
 * G R 1 4 *	最長		

ブザー 音量


 * G R 2 0 *	大	 * G R 2 1 *	中
 * G R 2 2 *	小		

起動時のブザー

 * L B O 3 *	あり	 * L B O 4 *	無し
--	----	---	----

ブザーのタイミング

バーコードデータを出力する前に鳴らすか、後に鳴らすかの設定です。

 * L B O 0 *	前	 * L B O 1 *	後
--	---	---	---

設定終了



設定開始



スキャナー制御(4)

印は、出荷時初期設定です。

ターミネータ*

無し	
ENTER	
TAB	

- * 1) 「ENTER を 2 回」、「TAB を 2 回」などを設定する場合は、ターミネータを「無し」に設定し、「前置文字」「後置文字」(P30 参照)に ENTER や TAB を設定してください。
- 2) キーボードレイアウトを「国際的」設定している場合は、アプリケーションによってはターミネータが無効となる場合があります。
その場合は「前置文字」「後置文字」に ENTER や TAB を設定し、「ファンクションキー変換」を「変換する」に設定してください。
設定の手順は「付録 3 クイックメニュー(巻末)」を参照してください。

設定終了



設定開始



バーコードの読取条件

UPC / EAN (JAN)

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

*「JAN」について設定する場合は「EAN」の項目を使用します。

UPC / EAN / JAN 読み取る	
UPC / EAN / JAN 読み取らない	
EAN-8 と EAN-13 を読み取る	
UPC-A と EAN-13 を読み取る	
UPC-A と UPC-E を読み取る	
UPC-A のみ読み取る	
UPC-E のみ読み取る	
EAN-13 のみ読み取る	
EAN-8 のみ読み取る	

アドオン読み取り

アドオン読み取らない	
読み取る 5桁のみ*	
読み取る 2桁のみ	
読み取る 5桁と2桁	

設定終了



設定開始

UPC-A オプション



印は、出荷時初期設定です。

UPC-A を EAN-13 に変換

変換する 先頭に "0" を付加し 13 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	
変換しない 12 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	

チェックデジットの出力

出力する	
出力しない	

ナンバーシステムキャラクタの出力

出力する 12 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	
出力しない 11 桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	

「ナンバーシステムキャラクタ」とは 12 桁中の 1 桁目のキャラクタです。

設定終了





設定開始

UPC-E オプション



印は、出荷時初期設定です。

UPC-E を UPC-A に変換(8桁を 12桁に変換)



<p>変換する</p> <p>データに“0”を挿入し、12桁に変換してデータを出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	
<p>変換しない</p>	

ナンバーシステムキャラクタの出力

<p>出力する</p> <p>8桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	
<p>出力しない</p> <p>7桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	

「ナンバーシステムキャラクタ」とは8桁中の1桁目のキャラクタです。

チェックデジットの出力

<p>出力する</p>	
<p>出力しない</p>	

設定終了



設定開始

EAN-13, JAN-13 オプション



印は、出荷時初期設定です。

ISBN 変換

変換する 先頭が " 978 " で始まる 13 桁の書籍コードを、 10 桁の ISBN コードに変換します。 *	
変換しない	

*先頭 3 桁 " 978 " を取り除き、最終 1 桁を ISBN 用チェックデジットに変換します。

チェックデジットの出力

出力する	
出力しない	

日本の新雑誌コード（定期刊行物） アドオンの強制

強制する 先頭が " 491 " で始まる 13 桁 + アドオン 5 桁の 雑誌コードを、18 桁で出力します。 *	
強制しない	

* 491 で始まり、アドオンの 5 桁が無い JAN-13 は読み取らなくなります。

EAN-8, JAN-8 オプション

印は、出荷時初期設定です。

チェックデジットの出力

出力する	
出力しない	

設定終了



設定開始

Code39(1)



印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

出力フォーマット

標準	
フルアスキー FullAscii Code39として読み取りと出力を実行 します。	

スタート/ストップの出力

出力する Code39のスタート/ストップは“*”。	
出力しない	

チェックデジット

チェックデジットの算出方法はモジュラス43です。

検査する/出力する チェックデジットが含まれる Code39のみ読み 取ります。	
検査する/出力しない チェックデジットが含まれる Code39のみ読み 取ります。	
検査しない チェックデジットの有無にかかわらず読み取 ります。	

設定終了





設定開始



Code39(2)

印は、出荷時初期設定です。

値設定

<p>最長の読み取り桁数 値設定：01-62 / 単位：1桁 初期値：62（62桁）</p>	 <p>次に値を設定</p>
<p>最短の読み取り桁数 値設定：01-62 / 単位：1桁 初期値：03（3桁）</p>	 <p>次に値を設定</p>

設定終了





設定開始



Interleaved 2 of 5, ITF




印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

チェックデジット

チェックデジット算出方法はモジュラス10ウェイト3です。

検査しない	
検査する / 出力する	
チェックデジットが含まれる Interleaved2of5 のみ読み取ります。	
検査する / 出力しない	

値設定

Interleaved2of5 の桁数は偶数桁です。値設定は偶数を設定します。

最長の読み取り桁数 値設定：02-32 / 単位：2桁(偶数桁) 初期値：32 (32桁)	 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：02-32 / 単位：2桁(偶数桁) 初期値：06 (6桁)	 次に値を設定
桁固定1つ目 値設定：02-32 / 単位：2桁(偶数桁) 初期値：00	 次に値を設定
桁固定2つ目 値設定：02-32 / 単位：2桁(偶数桁) 初期値：00	 次に値を設定
桁固定解除	

設定終了





設定開始

NW-7 (Codabar)





印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	 * R C 0 2 *
読み取らない	 * R D 0 2 *

スタート/ストップの出力



出力しない	 * C B 0 5 *
ABCD / ABCD を出力する	 * C B 0 6 *

チェックデジット

チェックデジット算出方法はモジュラス 16 です。

検査しない	 * C B 1 3 *
検査する / 出力しない	 * C B 1 4 *
チェックデジットがある NW-7 のみ読み取り。	
検査する / 出力する	 * C B 1 5 *

値設定

最長の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：32 (32桁)	 * C B 0 9 * 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：01-32 / 単位：1桁 初期値：06 (6桁)	 * C B 1 0 * 次に値を設定

読み取り判定の変更

読みにくいか読まないNW-7がある場合に設定してください。

このメニューを設定した後は、スキャナを再起動させて下さい(ケーブルを抜き差しする)。



設定終了



設定開始



Code128

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	 * R C O 6 *
読み取らない	 * R D O 6 *

値設定

最長の読み取り桁数 値設定：01-62 / 単位：1桁 初期値：62（62桁） [備考] Code128のチェックデジット（1桁分）は含み ません。データの桁数を設定します。	 * 1 8 0 6 * 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：03（3桁） [備考] 桁数については最長の設定を参照して下さい。	 * 1 8 0 7 * 次に値を設定

設定終了



設定開始

Code93



印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

MSI/Plessey

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る *	
読み取らない	

* 「読み取る」の設定は次の通りです。 ダブルC/D MOD10/MOD10 検査する/出力しない

IATA

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取る	
読み取らない	

設定終了



設定開始

データの編集





印は、出荷時初期設定です。



前置文字 / 後置文字 *

<p>前置文字 (Header)</p> <p>値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)</p> <p>[備考] データの最大設定数は 10 キャラクタまで。</p>	 <p>次に値を設定</p> <p>設定したキャラクタを消去する場合は 次に「セット」「設定終了」をスキャン </p>
<p>後置文字 (Tailer)</p> <p>値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)</p> <p>[備考] データの最大設定数は 10 キャラクタまで。</p>	 <p>次に値を設定</p> <p>設定したキャラクタを消去する場合は 次に「セット」「設定終了」をスキャン</p>

データの削除

<p>先頭から削除する</p> <p>値設定 : 00-10 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (削除なし)</p>	 <p>次に値を設定</p>
<p>末尾から削除する</p> <p>値設定 : 00-10 / 単位 : 1 桁 初期値 : 00 (削除なし)</p>	 <p>次に値を設定</p>

コード識別子の付加 (1)

<p>付加しない</p>	
<p>付加する</p> <p>初期値で設定されたキャラクタを全種類のバーコードに付加します。</p>	

設定終了



設定開始



印は、出荷時初期設定です。

コード識別子の付加(2) ユーザー指定

「Full Ascii Code39 表」から任意の文字選択して設定します。

Code39 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : M	 次に値を設定
Interleaved2of5 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : I	 次に値を設定
UPC-E 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : E	 次に値を設定
UPC-A 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : A	 次に値を設定
EAN-13/JAN-13 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : F	 次に値を設定
EAN-8/JAN-8 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : FF	 次に値を設定
NW-7(Codabar) 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : N	 次に値を設定
Code128 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : K	 次に値を設定
Code93 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : L	 次に値を設定
MSI/Plessey 値設定 : FullAscii Code39 表から選択 初期値 : P	 次に値を設定

設定終了



付録 1

アスキーコード表 “ Ascii Code Table ”

L \ H	0		1		2	3	4	5	6	7
	0	1	0	1						
0	Null	5(num)	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	Ins	F1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	Del	F2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	Home	F3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	End	F4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	Up	F5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	Down	F6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	Left	F7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BackSpace	F8	BS	CAN	(8	H	X	h	x
9	TAB	F9	HT	EM)	9	I	Y	i	y
A	Enter	F10	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	Right	F11	VT	ESC	+	;	K	[k	{
C	PgUp	F12	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	ENTER(num)	ESC	CR	GS	-	=	M]	m	}
E	PgDn	Ctrl+	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	Shift	Alt+	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

ファンクションキー変換

[アスキーコード表について]

言葉の意味は次の通りです。 H=High (16 進数上位) L=Low (16 進数下位)

[文字について]

- “ 0x5C ” は ISO 規格では “ バックスラッシュ ” ですが日本語環境では ANK に基づく “ ¥ ” (円記号) になります。
- “ 0x7E ” は ISO 規格では “ オーバーライン ” ですが日本語 Windows 環境では “ ~ (チルダ) ” が表示されます。

[網掛け部分について]

- 前置文字、後置文字に “ 0x01 ” から “ 0x1F ” までの値を設定すると、表に示したファンクションキーに変換されます。PC の環境によっては変換が無効となる場合があります。
 - 1) ファンクションキーを設定する場合は「動作環境」の「ファンクションキー変換」を「変換する」に設定してください。
 - 2) 「英語 USB キーボード」「日本語 USB キーボード」の設定では、「Enter(num)」「Tab」を設定する場合は「ファンクションキー変換」を「変換しない」のままでもキーを出力します。
 - 3) 「インターナショナル (ALT Method) 」の設定では、「Enter(num)」「Tab」を設定する場合は「ファンクションキー変換」を「変換する」を設定してください。
- 「CTL(L)」「ALT(L)」は単独では使用できません。次に続く 1 キーと組み合わせてアプリケーションに割り当てられたショートカットキーとして設定します。

例：プリフィックスに “ CTL(L) + f ” を設定する

[設定開始]-[前置文字]-[RS(CTL)]-[f]-[セット]-[(ファンクションキー) 変換する]-[設定終了]

設定開始



付録 2

Full Ascii Code39 表(1)

Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	キ-変換 NUL 無し	00		Shift	0F
	SOH Ins	01		DLE 5(num)	10
	STX Del	02		DC1 F1	11
	ETX Home	03		DC2 F2	12
	EOT End	04		DC3 F3	13
	ENQ Up arrow	05		DC4 F4	14
	ACK Down arrow	06		NAK F5	15
	BEL Left arrow	07		SYN F6	16
	BS Back space	08		ETB F7	17
	HT Tab	09		CAN F8	18
	LF Enter Alpha numeric	0A		EN F9	19
	VT Right arrow	0B		SUB F10	1A
	FF PgUp	0C		ESC F11	1B
	CR Enter(num)	0D		FS F12	1C
	SO PgDn	0E		GS ESC	1D

セット



設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(2)

Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	RS CTL(L)	1E		-	2D
	US ALT(L)	1F		.	2E
	SP	20		/	2F
	!	21		0	30
	“	22		1	31
	#	23		2	32
	\$	24		3	33
	%	25		4	34
	&	26		5	35
	‘	27		6	36
	(28		7	37
)	29		8	38
	*	2A		9	39
	+	2B		:	3A
	,	2C		;	3B

セット



設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(3)

Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	<	3C		K	4B
	=	3D		L	4C
	>	3E		M	4D
	?	3F		N	4E
	@	40		O	4F
	A	41		P	50
	B	42		Q	51
	C	43		R	52
	D	44		S	53
	E	45		T	54
	F	46		U	55
	G	47		V	56
	H	48		W	57
	I	49		X	58
	J	4A		Y	59

セット



設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(4)

Code39	Ascii	HEX	Code39	Ascii	HEX
	Z	5A		i	69
	[5B		j	6A
	\	5C		k	6B
]	5D		l	6C
	^	5E		m	6D
	_	5F		n	6E
	`	60		o	6F
	a	61		p	70
	b	62		q	71
	c	63		r	72
	d	64		s	73
	e	65		t	74
	f	66		u	75
	g	67		v	76
	h	68		w	77

セット



設定終了



設定開始



Full Ascii Code39 表(5)

Code39	Ascii	HEX	
	x	78	
	y	79	
	z	7A	
	{	7B	
		7C	
	}	7D	
	~	7E	
	DEL	7F	

セット



設定終了



付録 3**クイックメニュー [1]**

設定内容：はじめて使用するとき推奨する設定

[この設定を推奨する環境、条件]

- 1) 日本語 Windows の PC にスキャナを接続する
- 2) PC のキーボードをアルファベット小文字入力で使用する (CapsLock ランプ消灯)
- 3) 読み取るバーコードの種類が不明。

初期設定では読み取らない「NW-7」を読み取るように変更します。

「NW-7」はよく利用されているバーコードのひとつです。

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始	
2	初期化	
3	インターフェースの設定 USB キーボードインターフェース	
4	キーボードレイアウト 日本語 USB キーボード	
5	バーコード読み取り条件 NW-7 読み取る	
6	バーコード読み取り条件 NW-7 スタート/ストップ出力しない	
7	設定終了	

付録 3

クイックメニュー [2]

設定内容：キーボードレイアウト「インターナショナル」で使したときに

バーコードデータのあとに ENTER や TAB を付加する

[設定が必要な環境]

- 1) PCのキーボードをアルファベット大文字入力で使している (CapsLock ランプ点灯)
- 2) 1)の条件に加えて、読み取るバーコードにアルファベット(A~Z,a~z)が含まれている

順番	内容	設定用バーコード
1	設定開始	
2	初期化	
3	インターフェースの設定 USB キーボードインターフェース	
4	キーボードレイアウト インターナショナル	
5	ターミネータ 無し	
6	ファンクションキー変換 変換する	
7	後置文字	
8	必要な方をスキャンしてください ENTER (Ascii=CR、Hex=0D) *ENTER を複数設定する場合は付加する 回数分読み取ってください	任意選択 
	TAB (Ascii=HT、Hex=09) *TAB を複数設定する場合は付加する 回数分読み取ってください	
9	セット	
10	設定終了	

付録 4

テスト用バーコード 動作確認などにご使用ください。

JAN-13



JAN-8



UPC-A



UPC-E



Interleaved2of5



NW-7(Codabar)



Code39



Code128



【発行】
株式会社アチーブ
〒230-0051
神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央
4-30-14-2F
TEL:045-508-1877

URL:<http://www.achi-eve.co.jp/>

Z-3051HS Rev1.3 Dec 2008
